

日 本 ボ ス ト ン 会 会 報

発行所 日本ボストン会事務局 〒227-0045 横浜市青葉区若草台8-28 Fax 047-469-4280

ボストンで学んだ成功する条件

副会長 近藤 宣之

幸運は神への感謝から

1984年から1992年末まで、足掛け9年、ボストンに駐在しましたが、この間、日本人会の副会長、Japan Society of Boston の EVP、ニュージーランド日系企業懇話会代表等をさせていただきました。Japan Society では、Business Advisory Board のメンバーとして会合に出ていました。

そのとき米人仲間の一人から、米国で成功する条件をどう思うかと聞かれたので、1. Health、2. Competence、3. Hard Work だろうと答えたところ、それだけならいくらでもいる、それだけでは成功するとは限らないと言われました。

良いご縁、幸運に恵まれることがもっと重要な条件だ。生かさせていただき、仕事をさせていただきということで、神に感謝することが大切だとの説明でした。その感謝への具体的な証として、喜んで、ホームレスの人たちに食事の提供を初めとするボランティア活動や寄付等をしているとのことでした。

しかし、神への感謝が全ての成功への基本と言う視点は、日本人として、馴染み難いものでした。

“There is no way to happiness.”

その後、別の機会にアメリカ人牧師から聞いた言葉があります。

“There is no way to happiness. Happiness is the way.”
でした。

幸福とは何か？ どうしたら幸福になれるのか？ 人生の満足とは何か？ 何のためにこの世に生まれ、何のために生きるのか——？ という問いにこの一言が答えているのかもしれないと気づきました。

お金が出来たり、出世したところで、幸福になれるとは限りません。他人と比較してまだまだと思うでしょうし、何か条件が満たされて幸福になれるわけでもないでしょう。

“There is no way to happiness.”とは、幸福になるための、普遍的な道もなければ、一般的な条件もない、こうなったら、幸福になれるよ、ということはあるえないことを意味していると、理解しました。

“Happiness is the way.”は、英文としてなかなか難しい。前の言葉を受けての、“the way”とは、そうした幸福になりたい、成功したいと思って努力する過程、生きていくプロセス、日々の生活の場での実践そのものでしょうか。

“Happiness is the way.”とはそうした日々の実践の中に、幸福があるのだ、人生の達成感があるのだ、と解釈しています。

病に冒されても、生き抜く希望をもって日々感謝して生きる人と、健康でも、不平不満をもって日々の生活を生きる人のどちらが幸福なのか、個人の価値観によっても変わります。

人は、偶然ではなく、何らかの意味をもって生まれたのかもしれない。

そうだとすれば、生命が尽きるまで、心からの感謝をしつつ、自分(魂)を磨くことで、人生の役割を果たせるのではないのでしょうか。

2010年日本ボストン会イベント

- | | | | |
|-----------------------|---------------|-------------------------|-----------|
| *お花見の会(千鳥が淵) | 4月 4日(日) | *総会・懇親会 (NEC 三田ハウス芝クラブ) | |
| *親睦ゴルフ会(川崎国際生田緑地ゴルフ場) | | | 11月19日(金) |
| | 4月15日(木) | *紅葉狩り | 12月 4日(土) |
| *美術の会・歴史を飲もう会 | 4月24・25日(土・日) | | |